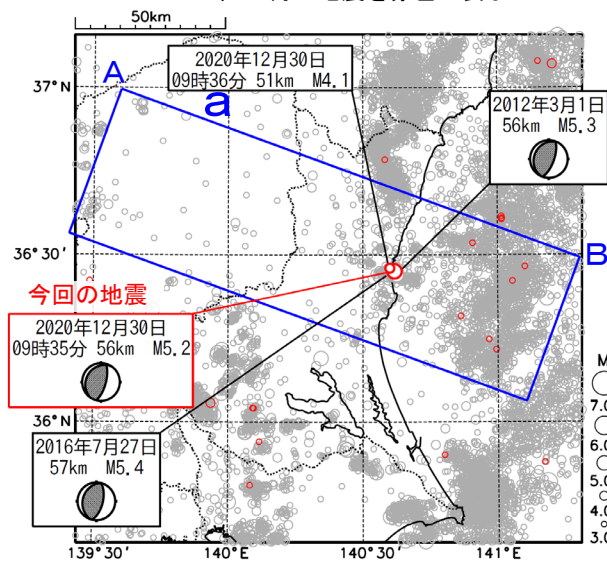


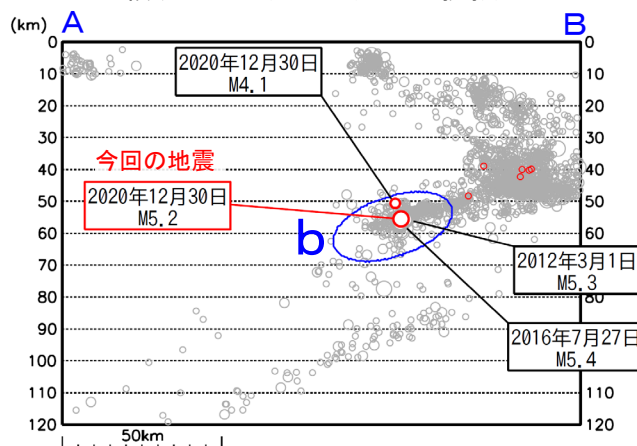
12月30日 茨城県沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「茨城県北部」である。

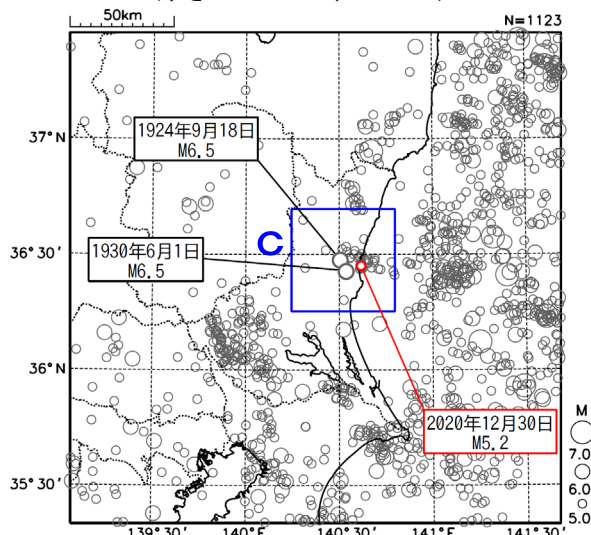
震央分布図
(1997年10月1日～2020年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2020年12月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

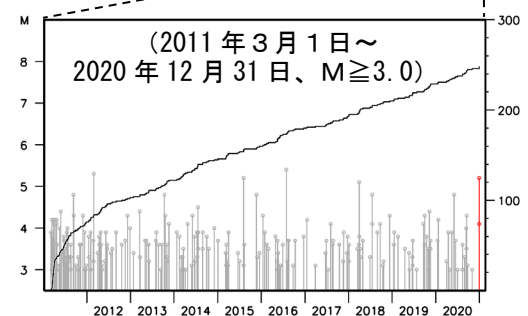
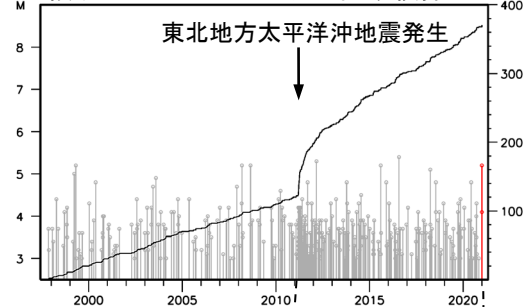


2020年12月30日09時35分に茨城県沖の深さ56kmで $M5.2$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。なお、この地震の震源付近でほぼ同時刻に $M4.1$ の地震（今回の地震と震度の分離はできない）が発生している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日には $M5.3$ の地震（最大震度5弱）、2016年7月27日には $M5.4$ の地震（最大震度5弱）などが発生している。

1919年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、 $M5.0$ 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生した $M6.5$ の地震（最大震度5）では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

